xSP-OEM 事業導入のご提案

Proposal of xSP-OEM business

はじめに

xSP-OEM 事業とは

xSP（x Service Provider）の「*x*」は変数であり、インターネット接続サービス（ISP）、ホスティングサービス（HSP）、アプリケーションサービス（ASP）などに置換されることを意図しています。

また、それぞれが OEM 提供ですので、独自の名称や価格および販売手法を設定いただくことができます。つまり xSP－OEM 事業とは、当社が取り揃えたインターネットにまつわる様々なサービスを、当社がプロバイダー事業で培ったノウハウと共に提供し、貴社の独自ブランドとして運営していただく事業です。

当社がご提案させていただく xSP－OEM 事業における特長を、次の各項目に分けてご説明いたします。

収益や財務等に関する特長 ▶「ストックビジネスの優位性」 …… 3

当社が提供するノウハウ ▶「当社の強み」 …… 6

当社が提供する商品 ▶「商品ラインナップ」 …… 8

ストックビジネスの優位性

フロービジネス と ストックビジネス

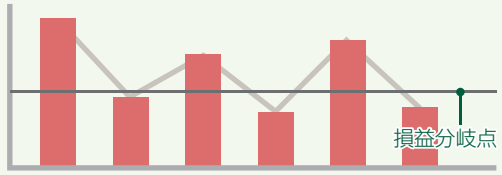
ビジネスを大きく分類すると、フロービジネスとストックビジネスに分けることができます。

フロービジネスは、商品の販売やインセンティブの獲得など、案件毎に売上が生じる単発の取引です。自動車・電化製品等の販売、小売店や飲食店の営業、インターネット回線契約の獲得など、商売の大半はフロービジネスに属します。

一方、今回ご提案させていただく継続的に売上が生まれるビジネスがストックビジネスです。お客様に対し毎月サービスを提供し、毎月サービスの利用料金を頂く継続した取引です。

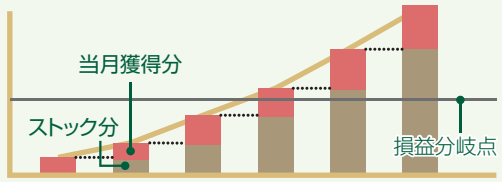
●収益イメージグラフ

「フロー型」収益のビジネスモデル



短期的には大きな収益を獲得できるが、
毎月の収益獲得は約束されない。

「ストック型」収益のビジネスモデル



一過性の大きな収益獲得はないが、
継続的な収益を確保できる。

ストックビジネスには次に挙げる 3 点の優位性があります。 》

ストックビジネスの優位性

ストックビジネスの

3つの優位性

3 predominancy
of stock business

1. 安定した収益の確保

フロービジネスは、売上が毎月リセットされるため、例え前月 1,000 万円を売り上げても今月は 0 円から売上を獲得していくことになります。

一方、ストックビジネスは前月の売上に今月新規獲得した売上を積み上げます。前月 1,000 万円を売り上げた場合、今月は約 1,000 万円をスタートとし、その上に新規獲得した売上を積上げます。

１契約の積み重ねにより着実に収益が増加し、ある契約数（損益分岐点）を確保した時点で黒字が確定します。

その後は、契約数の維持・増加を図ることにより極めて安定した収益基盤が確立されることになります。

2. 正確な売上予測と経営リスクの低減

売上が多数の小口顧客から構成されているため、売上予測に反して大幅な減益が生じないのも特徴です。

また、当社がご提案させていただくストックビジネスは、インターネットという社会生活に不可欠なインフラ事業をベースとしています。故に、不景気にあっても短期間に多数の契約解除が行なわれることがありません。毎月の売上額は有効契約数により算出されるため、希望的観測による売上予測を排し精度の高い売上予測を実施することが可能となります。

更に、精度の高い売上予測に基づいた適切な販売管理費（人件費・販売促進費等）を設定することで、無駄な費用や根拠がない無謀な事業計画を是正し、経営リスクの芽を排除することができるのです。

3. 顧客との継続取引による信頼関係の構築

納品後に取引関係が終了するフロービジネスと異なり、サービスの解約申請があるまで取引関係が継続されます。また、OEM形態での提供のため、貴社ブランドとしてサービス提供を行って頂きます。

顧客と貴社の間に契約関係が常に存在することになり、顧客への定期訪問と提案が容易となります。これにより、顧客の情報を収集・把握することで、追加受注の機会を得ることが可能となります。

顧客が抱える様々な問題を貴社ブランドのサービスで改善することにより顧客から信頼を得て、顧客にとって不可欠なビジネスパートナーとなることができるのです。

当社の強み

当社には、日本のインターネット創成期よりプロバイダー事業を運営してきた実績があります。
“長年にわたり蓄積させたノウハウ”をご提供する事が可能です。また、IT 市場のマーケティングを常に行ない、市場の新たなニーズを把握し販売スキームや新商材のご提案を行なって参ります。
当社は、貴社の新規事業への進出を全力でサポート致します。具体的に、次の 4 つの視点からご説明いたします。

[IMS-ERP]

プロバイダー事業のノウハウを集約させたシステムの提供

当社が長年のプロバイダー事業で培ったノウハウを集約させた基幹オペレーションシステム（業務運営システム）が IMS－ERP です。
プロバイダー運営における「顧客管理」、「サービスアカウント管理」、「請求処理」、「販売統計」など様々な機能を備えており、高度で専門的な知識を要することなく業務を一元管理することができます。
また、内部統制の面においても操作の履歴が残る等、不正に対する抑止効果を発揮します。
IMS－ERP により、業務の効率化を実現し、少人数による簡単で安全な業務運営が可能となります。

[サポート]

専門スタッフによる事業運営の全面的なバックアップ

「高度な専門知識」と「様々な事象に対応した経験」を有する専門スタッフが、貴社の事業運営を全面的にバックアップ致します。
業務上で生じた問題点や疑問点は、当社の専門スタッフにご相談いただければ、 適切な解決策をご案内いたします。
また、貴社のプロバイダー事業展開に関するご相談やご要望にも、可能な限りご協力させていただきます。

[運 用]

貴社オリジナルのブランド名・商品名によるサービス運営

幅広い商品ラインナップの中から貴社のビジネスモデルにあわせて、取り扱い商材をご選択いただくことが可能です。

また、OEM 契約であるため、貴社オリジナルのブランド名・商品名で運営いただくことができます。もちろん販売価格も自由に設定いただくことが可能です。

更に、サービスのシステム運用・保守は当社およびサプライヤーが行いますので、貴社におかれましてはサービスの販売と顧客対応に専念していただくことができます。

[営業支援]

販売のためのスキーム提供

「サポート」面と同様に自社のプロバイダー運営により構築した販売スキームを、当社の営業スタッフよりご紹介致します。ご希望とあれば、貴社営業スタッフ様の OJT 教育も可能です。

更に、当社にて販促ツール（ブランドサイトや販促資料、必要書類の雛形）のご提供も行います。

また、商品ラインナップ追加をご希望の場合は、相談いただければ商品選定やサプライヤーとの条件交渉など、可能な限り当社が代行させていただきます。

常に新しいサービス、新しい技術の提供に向けて、情報収集を行い、貴社と共有を行なって参ります。

商品ラインナップ

当社サービス一覧

当社が戦略を練り、準備した商品ラインナップは、次の通りです。
各サービスは、組み合わせて利用するケースが多く、複数のサービスをパッケージ化して販売することが可能です。

インフラ環境の提供

・インターネット接続サービス
・モバイル通信サービス

セキュリティ環境の提供

・月額版 PC セキュリティサービス
・PC ログ監視サービス
・有害サイトフィルタリングサービス

業務改善および情報共有

・グループウェアサービス
・オンラインストレージサービス
・メールサービス

企業ブランドの向上

・ドメイン維持管理サービス
・レンタルサーバサービス
・ホームページ作成パッケージサービス

通信コストの削減

・IP 電話サービス
・光回線取次サービス

顧客サポートの向上

・定額サポートサービス
・訪問サポートサービス

今後も随時サービスの拡充を図ってまいります。

「クラウドサービス」のご紹介

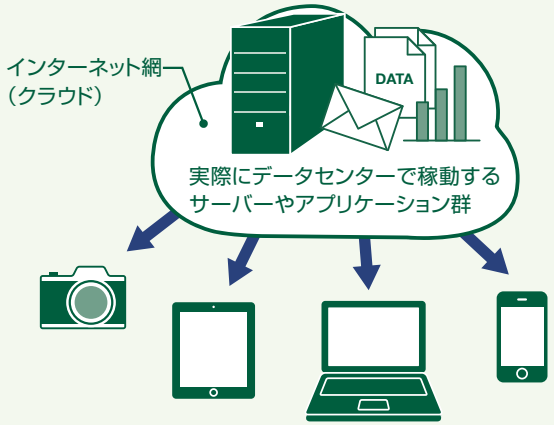
クラウドサービスは、企業の間で「低コスト」、「利便性」、「災害対策」という観点から急速にニーズが高まっています。

また、モバイル通信の普及も進んでおり、この２つを組み合わせることで、時間と場所の制約を受けずネットワーク上のシステムが利用できるようになります。

今後、一般企業はもちろん行政、医療、教育等、様々な分野で導入が予定されています。

クラウドサービスには以下のメリットがあり、顧客が抱える様々な問題に対し、顧客に応じた解決策を提案することが可能となります。

●クラウドサービスのしくみ



情報へのアクセスに関する利便性

外出先や遠隔地からでもマルチデバイスで情報へのアクセスが可能となるため、仕事の停滞が解消されビジネスの利便性が向上します。

災害、防犯対策

地震、火事、水害などの災害や、パソコンの盗難や故障が起こると、パソコンとともに大切なデータが消失します。クラウドサービスのデータ保存場所は、安全なデータセンター内であるため、万が一の事態においても大切なデータは保護されます。企業の事業継続計画（BCP）において、重要な役割を果たします。

安価な導入コスト

サービスを利用するために、何十万円もするハードウェアやソフトウェアを購入する必要がありません。安価な導入費用と月額利用料で利用ができ、その上、必要数に応じて契約数を増減できるため、無駄なコストを削減したい企業において需要が増えています。

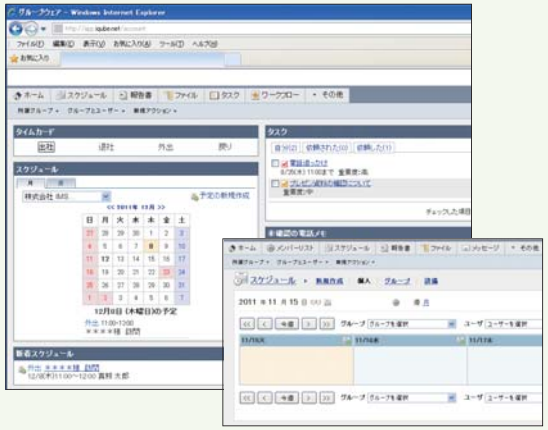
専任のシステム管理者が不要

メンテナンスやバージョンアップはサプライヤーが行いますので、専門知識をもつ専任のシステム管理者を社内に置く必要がなくなり、業務コストおよび運営コストの大幅な削減が見込めます。

提供クラウドサービス

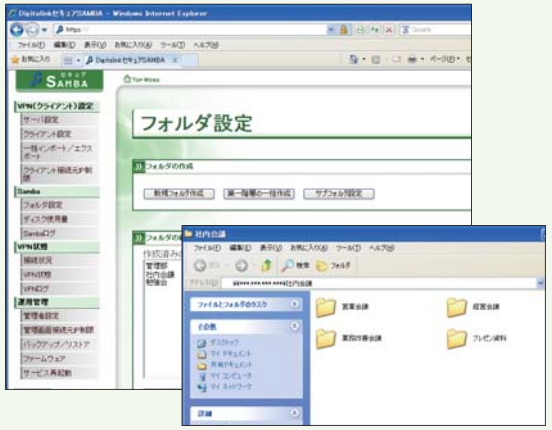
グループウェアサービス

グループウェアとは、WEB ブラウザを用い社内の情報を共有することで業務の効率化を図るサービスです。組織のプロジェクト、スケジュールや設備、各種申請などを管理したり、伝達事項の共有を図ることができます。タブレット端末や携帯電話・スマートフォンからも利用できるため、外出先からでもタイムリーな情報共有が可能です。



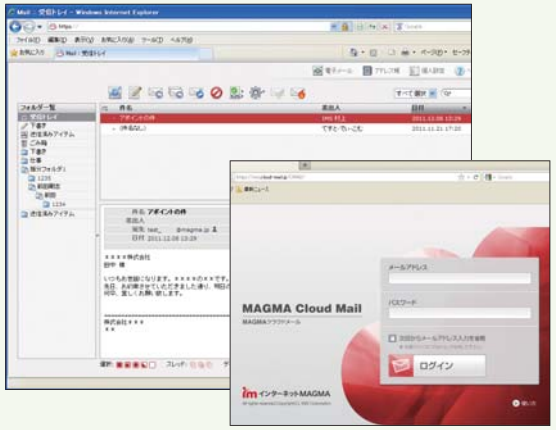
オンラインストレージサービス

インターネット環境と利用端末があれば「どこからでも」、「安全に」、「簡単に」利用できるクラウド型のファイルサーバです。データファイルの共有や大容量データの受け渡しを行なうのに適しています。



クラウドメールサービス

社内の PC はもちろん、外出先のスマートフォンやタブレット端末からでも、「簡単に」「安全に」メールをチェックできます。プロバイダードメインでの展開に加えて、独自ドメイン版の提供も可能です。



会社概要

株式会社IMS

（英語名：IMS Corporation）

設　　立	1996年9月6日
資 本 金	41,250,000円
主要株主	高木　大輔（5,600株） 株式会社テレ・マーカー（1,200株） 井上　淳二（800株）
代表取締役社長	高木　大輔
専務取締役	井上　淳二
監査役（非常勤）	西坂　竹美
社 員 数	19名（2014年6月現在）
本　　社	東京都港区六本木7丁目15-17ユニ六本木7F TEL：03-5436-7753 / FAX：03-5436-7754
九州支社	熊本県熊本市西区春日1丁目14-2 春日ヒルズ1F TEL：096-355-5100 / FAX：096-355-5111
資　　格	届出電気通信事業者（A-13-4562） JISQ27001:2006（ISO / IEC27001:2005） 一般社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター（JPNIC）など
加　　盟	一般社団法人 日本インターネットプロバイダー協会 (JAIPA) 安心・安全インターネット推進協議会 特定非営利活動法人 地域間高速ネットワーク機構 (IXO) など

●ロゴの意味

株式会社IMS

3つの丸は、お客様・ビジネスパートナー様・私たちを表現しています。3つの丸を包み込む線はIMSのIをイメージし、幸福へ続く道を表現しています。商売の原理原則である三方良し、WIN・WINの関係を構築し、わが社が前へ前へ進むことで関わる全ての人々の幸福実現に貢献したいという想いを込めました。

xSP-OEM

色のついていない空間で「x」を表現しています。空間は無限に広がるビジネスを表しています。

また、色のついている部分は幸せの象徴である四つ葉のクローバーを表現しています。xは変数であり、xには、様々なビジネスモデルが置換されます。サービスプロバイダーとして長年の経験やノウハウを提供しビジネスパートナー様と共に幸せになりたいという想いを込めました。

Copyright © 2011 IMS Corporation All Rights Reserved.

株式会社IMS

本　　社　〒106-0032　東京都港区六本木 7丁目15-17 ユニ六本木7F
TEL：03-5436-7753 / FAX：03-5436-7754
九州支社　〒860-0047　熊本県熊本市西区春日 1 丁目 14-2 春日ヒルズ 1F
TEL：096-355-5100 / FAX：096-355-5111

ビジネスパートナー